ひまわり

小児：障害福祉サービス「医療型短期入所」について

当院には３つの病棟があり、小児病棟である 3B ユニットは重症心身障害児を含め、医療的ケアを必要としているお子さまのリハビリテーションを目的とした入院をお受けしています。当病棟では、地域のみなさまのサポートを目的に、令和７年３月より「医療型短期入所」をはじめました。

「医療型短期入所」とは、障害者総合支援法に基づき、私用・休養・リフレッシュ・家族の学校行事などで、ご自宅で療育されることが困難な場合、短期間入所することができるサービスです。

私たちはスタッフ一同はお子さまお一人おひとりの背景を大切にしながら、成長・発達を促しつつ、在宅療養がよりよいものになるよう、支援いたします。

今回は、当院の「医療型短期入所」について、ご紹介します！

当院の「入院」と「医療型短期入所」の違いについて

	入　院	医療型短期入所
制度区分	医療保険に基づく医療提供	障害者総合支援法に基づく福祉サービス（医療型）
目的	病気やけがに対する治療･リハビリテーションなどの医療提供	日常生活支援と短期的なケア・休養・家族の負担軽減
対象	病気やけがにより治療やリハビリテーションが必要な方	原則小学生以上～18歳未満の重症心身障害児
利用期間	状態に応じた治療期間	2泊～6泊（7泊以上は相談対応）
入所の予約	医師の判断･紹介により入院予約	空床利用型 ※ベッドに空きがある場合のご利用となるため、利用日時についてはご希望に添えない場合があります。
リハビリテーション	あり	なし
費用負担	医療保険の自己負担	福祉サービス内の負担（市町村発行の受給者証に基づく自己負担＋食費など）
必要な書類	医療機関の診療情報提供書（紹介状）など	障害福祉サービス受給者証･診療情報提供書等

療養環境について

利用するお部屋は 2 ～ 4 人の大部屋となります。日常生活を支える空間であり、安全に過ごせるように配慮しています。清潔さを保つと同時に、音、におい、温度を適切に管理し、お子さまたちが気持ちよく過ごせる環境を整えています。

お子さまにとって、よい環境やケアを提供できるよう、事前に「1 日のケアスケジュール」用紙にケアの内容や時間などをご記入いただきます。入所中の食事や衛生面のケア、医療的ケア、活動状況など、お一人おひとりの状態や個別的なニーズに沿えるよう、ご相談させていただきます。

平日の日中は、病棟内のプレイルームに保育士がおります。手遊びや制作、レクレーションを通して、気分転換をはかるとともに、成長発達を促す活動を行います。

プレイルームでの活動は、他者との関わりやルールを学んだり、年間行事に触れることで季節を感じる機会となっています。

入所中はリハビリテーションを受けることや、学校への通学はしませんが、朝の会や入院中の他児と関わることができるプレイルームでの活動は、在宅生活に近い環境を提供することにつながっています。

その他

・入所中に使用される日用品及び衛生用品につきましては、入院費や施設給付費には含まれておりませんので、ご自宅から持参していただくようお願いいたします。
　お子様が利用する呼吸ケア物品（吸引チューブ、消毒綿など）・経管栄養物品（シリンジなど）は、感染予防のため、使い捨てとさせていただきます。

・入所中は、感染対策のため、緊急時以外のご面会はご遠慮ください。

利用手続きについて

利用希望	市町村に受給者証発行申請	受給者証発行	当院に電話で申し込み	事前診断日の日程調整	事前診断実施	入所判定	契約・重要事項説明書の説明 利用希望日の聞き取り	ベッドが空き次第利用開始
利用者	利用者	行政	利用者	病院	病院	病院	利用者・病院	利用者

※　「短期入所（医療型）」の受給者証が必要になります。
※　事前診断：かかりつけ医の診療情報提供書等が必要になります。詳しくは電話でお問い合わせください。
※　入所判定により当院での短期入所事業が利用できない場合もございます。あらかじめご了承ください。
※　B・C 型肝炎、梅毒の検査が必要となります。他院で行っている場合は、検査結果をお持ちください。当院で検査を行う場合は、自己負担となります。
※　事前診断、入所判定を受けた結果、当院への入所が可能であれば、医療型短期入所を行うことになります。

療育・保育は、医療、福祉、地域といった社会の力を借りながら、みんなで育てていくことがとても大切です。医療型短期入所を利用することで、ご家族が少し休息をとったり、きょうだいとの時間を大切にしたり、気持ちを整える時間を持つことができます。その時間が、また笑顔でお子さんと向き合う力につながります。私たちは、「社会で育てる子育て」の一員として、ご家族に寄り添いながら、お子さまの安心と成長を支えていきたいと考えています。

「まずは話を聞いてみたい」「利用できるか知りたい」そんなお気持ちで構いません。どうぞお気軽にご相談ください。

詳細は当院ホームページ内「医療型短期入所」のページをご覧ください。

ホームページはこちら→

医療型短期入所の制度・内容に関するお問い合わせ
029-888-9212（総合相談室）
医療型短期入所利用申し込みに関するお問い合わせ
029-888-9201(予約受付)
電話対応時間は平日9：00～12：00、13：00～15：00

茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、
患者さんが住み慣れた地域で、安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

1　患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
2　より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
3　先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
4　県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
5　医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
6　健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

画像診断サービスのご案内

当院では、他の医療機関からのご依頼で、
以下の検査を実施しています。

～検査内容～

- 一般Ｘ線撮影
- Ｘ線骨密度測定
- ＣＴ検査
- 核医学検査
- ＭＲＩ検査
- 超音波検査

※CT検査・MRI検査は当日の検査が可能です。

●医療機関からの電話による予約

ＴＥＬ：０２９－８８８－９２１３
ＦＡＸ：０２９－８８８－９２７４

詳しくは
ホームページを
ご覧ください→

～令和７年度診療実績～

(令和７年12月31日時点)

●延外来患者数	13,875人
（１日平均	75.41人）
●延入院患者数	27,672人
●新入院患者数	465人
●退院患者数	468人
●平均在院日数	58.32日

当院へのアクセス

【広域図】

【詳細図】

●鉄道・バスをご利用の場合

●鉄道・バスをご利用の場合
ＪＲ常磐線　土浦駅または荒川沖駅で下車
□土浦駅（西口）からバスで約25分
「阿見中央公民館行」に乗車し、
「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分
□荒川沖駅（東口）からバスで約25分
「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合
□常磐自動車道
「桜土浦ＩＣ」より
約25分

茨城県立医療大学付属病院
Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital
〒300-0331　茨城県稲敷郡阿見町阿見4733
TEL.029-888-9200㈹　　ホームページ　https://www.hosp.ipu.ac.jp/